

2018年7月15日

ロシア留学 報告書

留学期間 : 2017年8月27日～2018年6月27日

所属校 : 富士河口湖高校

氏名 : 太刀川 麗

国名 : ロシア連邦



都市名 : グラスノダール
モスクワから1,540km、黒海から約80km。



留学を終えて

去年の8月の終わりに日本を出発してからあっという間に約10ヶ月が過ぎ日本に帰国しました。初めてのロシアでの夜、どんなに辛くても帰りたくても約10ヶ月間は日本に帰ることができないなと大きな決意と不安を抱えて眠りについたことを思い出します。そのときは、約10ヶ月って本当に長いなと思っていました。しかし、振り返ってみるとあっという間に1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月…と時間が過ぎていきました。

始めの頃は、ロシア語がまったく理解できない中で、ロシアの環境に慣れることに必死でした。言いたいことが上手く伝わらなかったり、英語でのロシア語のレッスンについて行くことが難しく、心に全く余裕がなく、こんな過ごし方で自分が本当に成長できるのかとても不安でした。また、留学で一番辛いとされている3ヶ月目のころ、ロシアはちょうど季節が冬でほとんど毎日が曇りでどんよりした天候でした。太陽の光が浴びられない日が続きました。そのためモチベーションがなかなか上がらず、学校に行くこと、ロシア語を勉強すること、ついには家族とコミュニケーションを取ることもさえ嫌になりました。色々なことをネガティブに考えてしまうことが多くなっていました。そんな時励ましてくれたのは、ロシアで出来た友達、そしてロシアと一緒に留学した友達でした。辛かった3ヶ月を乗り越えた頃、少しずつロシア語も聞き取れるようになり、ロシアの生活に慣れ楽しめるようになりました。6ヶ月を過ぎた頃にはバスの運行の仕方も理解し1人で行きたいところに自由に行けるようになりました。ロシアで友達になったチリ、ガテマラの人達と休日にでかけたり、ロシア語のレッスンと一緒にいたりしました。ロシアに来た当初2時間も道に迷いホストマファミリーに心配をかけてしまったことは今ではいい思い出です。

ロシアでは5月下旬に学校が終わり、3ヶ月間の長い夏休みに入ります。なんと夏休み中の宿題は本を読むことのみ。日本と比べると夏休みはとても長いし宿題もほとんどなく、とても羨ましく思いました。正直日本に帰るのが嫌でした。ロシアでは、教員の給料が安いので男性が教員になることは少なく、ほとんどの教員が女性でした。

ロシアでのスクールライフが終わり、帰国まで約1ヶ月間休みがありました。最後のオリエンテーションに参加したり、友達にお別れの挨拶に行ったり、お土産を買ったりと帰国の準備で忙しかった1ヶ月間でした。最後のオリエンテーションでは逆カルチャーショックについて話をされました。ロシアに着いたばかりの頃はロシアでのカルチャーショックがあり、それを10ヶ月の中で一生懸命理解し過ごしてきました。

日本に到着し始めの方に感じた逆カルチャーショックは公共トイレが綺麗、コンビニがとても便利、など良い逆カルチャーショックばかりでした。逆カルチャーショックを感じるたびにたった10ヶ月間でも色々なことをロシアで学び感じて来たんだなと思います。日本に来て1週間ほどが経ち良い逆カルチャーショックだけではなく、ときどきロシアライフの始めの3ヶ月間のような気持ちになることもあります。まだまだ、ロシア気分が抜けない部分もあるけれど、気持ちを切り替えて日本でも頑張っていきたいです。

留学に行ったほとんどの人が留学を「長かったけどあつという間だった」と感じていると思います。留学中、何度も日本に帰りたと思ったけれど、日本にいる今、ロシアを恋しく思い何度も「ロシアは何時だろう？」などと考えてしまいます。10ヶ月間の留学生生活を振り返ってみると、楽しかったことよりも辛かったことの方が多かったと思います。しかし、留学したことを後悔は全くしていません。高校留学に行った人にしか分からない留学中の辛さ、楽しさ、帰国後の大変さなど本当にたくさんのことを経験出来たと思います。自分の留学経験を話すと「本当に辛い留学だったね。」と言われるかもしれません。もちろん、とても辛かったけれど辛かっただけではなく、上手く説明ができないほどとても濃い約10ヶ月間でした。ロシア人の友達以外にもイタリア、チリ、アメリカ、タイ、ハンガリーなど多くの国の友達にも出逢えました。ロシア人の素晴らしいボランティアにも出逢うことができました。留学の中でどうしても自分で答えが見つけれなかったことを、そのボランティアと話をしたことによって見つけることができ、本当に素晴らしい人々に出逢えたと思いました。国境を越えたところに帰る場所があり、国境を越えた友達がいることは一生の自慢です。



左上：同じ支部の留学生とボランティアとのモスクワでの写真。

右上：最後の支部オリエンテーション。

左下：支部のさよならパーティー。

右下：日本についてのプレゼンをした語学学校の皆と。